

地域と大学

第33号

Newsletter No.33, Division of Regional Collaboration and Lifelong Learning

地域課題解決支援プロジェクト第2章に向けて

イノベーション社会連携推進機構・地域連携生涯学習部門長

阿部 耕也

新たな域学連携・地域貢献のための取り組みとして平成25年度に立ち上げた「地域課題解決支援プロジェクト」も4年目に入り、これまでその成果と進捗状況の一端をまとめた2冊の成果報告書を刊行することができました。各地では様々な取り組みが進んでいますが、いずれにおいても地域の様々な方々との交流を通して、教職員も学生もたくさんのお話を学ぶことができました。地域課題をきっかけに、それぞれの地域に入り、住民の方と交流し、課題解決を一緒に考えることを通して、学生たちは大きく成長しています。具体的な地域課題を中心におきながら、教員だけを導き手とするのではなく、学生だけで学ぶのではなく、様々な立場の地域の方々と交流・協働しながら、実践的に学び合うことが、大学にとって不可欠であるとあらためて感じています。

静岡大学では、第1期公募で寄せられた地域課題に引き続き取り組みながら、今年度第2期公募として、継続的に学生を受け入れていただける地域課題の募集を行いました。その結果、静岡県内東部・中部・西部の各地から全15件の課題が寄せられました。東部からは、第1期でも応募いただいた伊豆半島の松崎町、東伊豆町に加え、御殿場市の社会教育施設、NPOからも提案がありました。中西部では、富士市、静岡市、藤枝市、浜松市北区、同西区にある団体、NPOや生涯学習施設からも学生の受け入れを前提とした課題の提案がありました。現在、教職員や学生によるヒアリングを行い、学部横断型教育プログラム「地域創造学環」のフィールドワークと組み合わせた取り組みを進め、他大学の協力も募りながら、地域課題の解決支援を

行っていく予定です。

地域課題解決支援プロジェクトは、大学が支援者になろうとする取り組みですが、地域からの様々な働きかけ、協力、支援がなければ成立しない試みです。「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の採択、地域創造学環の立ち上げなど、地域と大学との密接なつながりを強めようとするなかで、地域課題解決支援プロジェクトも次のステップに踏み出したいと考えます。

大学の構成員が恒常的に社会連携・地域貢献活動に携わることで、教育・研究のあり方が深化・拡充する、それがまた次なる社会連携につながるといった、教育・研究・社会連携のサイクルをつくることが本学の目指す方向性であると考えます。その意味で地域課題解決支援プロジェクトはまだ助走段階に過ぎませんが、これまで同様、引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



松崎町の地域課題に関する説明を聞く
地域創造学環1年生

2016年度静岡大学公開講座

本年度も本学の専門的、総合的な教育・研究機能を学の特徴を生かし、県内各地を会場に特色ある講座を地域へ開放し、静岡と浜松にキャンパスをもつ静岡大 開催します。

講座名	講師	日時	会場	対象	定員	受講料	主催
中国人による中国講座 —日本人の知らない中国 [全8回]	人文社会科学部准教授・張盛開 人文社会科学部准教授・李蓮花 大学教育センター講師・翟勇 法科大学院准教授・朱曄 非常勤講師・王元武 非常勤講師・盧思 非常勤講師・周佩芳	4/9(土)・18(月)・23 (土)、5/13(金)・21 (土)、6/11・25、7/9 (土) 14:00～16:00 4/18、5/13のみ18:00～ 20:00	静岡キャンパス	一般市民	80	800	人
私のミカン～ミカンの通年管理 教室～ [全5回]	技術部技術専門職員・成瀬博規 技術部技術職員・周藤美希 農学部准教授・八幡昌紀	5/10、7/12、9/20、11/8、 3/7(火)13:30～15:30	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民	10	10,000	技
医療中国語 [全20回]	人文社会科学部准教授・張盛開 非常勤講師・王元武	6/2・9・16・23・30 7/7・14・21・28 8/4、10/6・13・20・27 11/10・17・24、12/1・8・15 (木) 19:00～21:00	静岡キャンパス	医療従事者優先	20	10,000	人
箏を弾こう!【初級】【中級】 [各3回]	教育学部准教授・長谷川 慎	7/31、8/7・21(日) 【初級】9:00～12:00 【中級】13:00～16:00	静岡キャンパス	箏の演奏に興味のある方	25	【初級】 無料 【中級】 3,000	教
鼓を打とう! [全2回]	長唄演奏家・望月太左衛 長唄演奏家・望月太左理	8/22(月)・23(火) 10:00～16:00	静岡キャンパス	小・中・高等学校 教員及び鼓の演奏に 興味のある方	20	無料	教
紅茶作りに挑戦しよう	農学部教授・稲垣栄洋 技術部技術専門職員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子	7/28(木) 13:00～16:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民	20	1,000	技
遺伝子の世界を見てみよう [全2回]	グリーン科学技術研究所准教授・道羅英夫 技術部技術職員・森内良太	8/3(水)10:00～17:00、 8/4(木)10:00～15:00	静岡キャンパス	県内高校生	20	無料	グ
体験「大学の化学実験」 [全2回]	グリーン科学技術研究所教授・近藤満	8/20(土)・21(日) 10:00～16:00	静岡キャンパス	中学生・高校生	30	無料	グ
静大キャンパス探訪 ～静岡キャンパスの自然と歴史～ [全4回]	ふじのくに地球環境史ミュージアム・岸本年郎 理学部准教授・徳岡 徹 教育学部講師・加藤英明 人文社会科学部教授・篠原和大	10/8・15・22・29(土) 10:00～12:00	静岡キャンパス	一般市民、学生、 小中高生(中学生 以下は保護者同伴)	20	無料	キ
多元的共生社会～さまざまな 人びとと生きる [全6回]	人文社会科学部准教授・山本崇記 人文社会科学部教授・白井千晶 人文社会科学部教授・荻野達史 人文社会科学部教授・幸田るみ子 人文社会科学部教授・江口昌克 人文社会科学部教授・笠井仁	10/4・11・18・25 11/1・8(火) 18:30～20:00	アイセル21(静 岡市葵生涯学 習センター)	一般市民	50	無料	人
情報学部公開講座2016	情報学部教授・吉田寛 情報学部准教授・荒木由布子 情報学部准教授・桐山伸也	11/7(土)10:30～12:00	浜松キャンパス	興味のある方ならど なたでも	150	無料	情

講座名	講師	日時	会場	対象	定員	受講料	主催
安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル（初級編）	教育学部教授・村越 真 プロアドベンチャーレーサー・宮内佐季子	6/4(土)9:30～16:30	静岡キャンパス 及び屋外	登山・アウトドア活動を行う一般市民	25	3,000	教
安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル（中級編）	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング日本代表選手・小泉成行	11/3(木・祝) 9:30～16:30	静岡市郊外	過去に初級編を受講した方、又は地形図の基礎知識がある登山経験者で6km程度を無理なく歩ける方	20	3,600	教
山の天気：楽しく安全な登山への道しるべ	(株)ヤマテン代表取締役・猪熊隆之 教育学部教授・村越 真	12/17(土) 9:30～16:30	静岡キャンパス	登山・アウトドア活動を行う一般市民	35	2,000	教
トレイルランナーのためのランニングとリスクマネジメント	教育学部教授・村越 真 teamTECNICA・山田高志	12/18(日) 9:00～16:00	静岡キャンパス 及び屋外	日常的にランニング（ロード・トレイルを問わず）を実施し、トレイルランニングに興味を持つ市民	15	3,900	教

【主催欄凡例】

- (人) = 人文社会科学部 (教) = 教育学部 (情) = 情報学部
 (キ) = キャンパスミュージアム (グ) = グリーン科学技術研究所
 (技) = 技術部



静大キャンパス探訪「身近な足もとの虫たち」

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座「地球市民・未来創生塾～現代日本に生き、考えるための5つの視点～」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	7/16(土)	超弦理論で解き明かす宇宙誕生の謎～現代の宇宙像の先へ～	土屋麻人(静岡大学理学部物理学科准教授)	189
2	8/20(土)	地球環境の歴史を読み解く～地球と人類のこれから～	山田和芳(ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授)	168
3	9/3(土)	近代世界の地域紛争～その背景と処方箋～	大野旭=楊海英(静岡大学人文社会科学部教授)	187
4	10/1(土)	日本における異文化交流の一側面～静岡とフランス～	今野喜和人(静岡大学人文社会科学部教授・学部長)	158
5	11/5(土)	静岡という地域～その課題と可能性～	太田隆之(静岡大学地域創造学環准教授)	—

- 会 場：あざれあ（静岡県男女共同参画センター） 6F 大ホール
- 参加費：無料
- 時 間：14：00～16：00
- 主 催：静岡大学、読売新聞東京本社静岡支局

2 静岡大学・中日新聞連携講座「浜松の過去・現在・未来」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	9/13(火)	井伊直虎と遠江	小和田哲男(静岡大学名誉教授)	95
2	10/11(火)	浜松の現在と未来～平成の大合併とまちづくり～	西原純(静岡大学情報学部教授)	79
3	11/8(火)	浜松から宇宙へ～超小型衛星 STARS とは?～	能見公博(静岡大学大学院総合科学技術研究科教授)	—
4	12/13(火)	ものづくりに活かすナノテクノロジー ～ウルトラファインバブルの化学～	間瀬暢之(静岡大学工学部教授)	—
5	1/17(火)	太陽光・排熱を電気へ変換 ～エネルギーハーベスト材料の開発～	早川泰弘(静岡大学電子工学所教授)	—

■会 場：静岡大学浜松キャンパス附属図書館浜松分館 3階大会議室

■参加費：無料

■時 間：18:00～19:30

■主 催：静岡大学、中日新聞東海本社

2016年度地域連携応援プロジェクト 15件を採択

本学学生・教職員が主体となり、すでに地域団体や自治体等と協働で取り組んでいる、または新たに取組もうとする活動を学内で公募し、支援しています。

2016年度は25件の応募があり、本年度はそのうち

15件を採択しました。これらの取り組みにより、学生・教職員の主体的な地域連携活動が促進され、地域とより密接に連携した静岡大学になることを期待しています。

採択したプロジェクト一覧

部局	代表者	プロジェクト名
農学部	富田 涼都	掛川市横須賀の在来作物「ニンジンイモ」継承のための「いいものねっこプロジェクト」
人文社会科学部	山岡 拓也	愛鷹山麓出土の旧石器資料に関する展示コンテンツの開発
教育学部	高橋 智子	静岡赤十字病院小児科外来における壁面制作プロジェクト
情報学部	田中 宏和	障害者就労支援事業
教職センター	山本 隆太	地域でつなぐ伊豆半島ジオパークと防災
教育学部	竹下 温子	島田市伊久美の地域活性化に向けた商品開発
情報学部	杉山 岳弘	浜松市における自然・歴史観光のためのインタープリター育成教材の開発事業
教育学部	矢崎 満夫	(多文化共生) 放課後わくわくクラブ～勉強と絵本でつながる子どもの輪～
技術部	宮澤 俊義	静岡大学は大きな自然公園 ～植物・野鳥・昆虫の観察会を通じての地域貢献プロジェクト～
人文社会科学部	橋本 誠一	鷺山恭彦家文書(掛川市)の調査・保存事業
教育学部	川原崎 知洋	富士市の小学校教諭と協働する造形ワークショッププロジェクト
人文社会科学部	藤井 真生	静岡県内の高校教員と連携した地歴教員養成・支援プロジェクト「地歴教員養成講座」
教育学部	大塚 玲	きんもくせい土曜教室(発達障害児の学習等支援活動)
教育学部	小林 朋子	子どもレジエンス(精神的回復力)を育てる「富士山モデル」の実践
教育学部	山崎 保寿	英語力向上に関する地域連携モデルの教材化および静岡県域への拡大に対するサポート事業

2016年度上半期（4月～9月）の事業報告

地域連携応援プロジェクト 公募説明会/前年度成果報告会

2016年度「地域連携応援プロジェクト」の公募に際し、前年度のプロジェクトの成果報告発表を行いました。

- ・日時：2016年5月12日（木）14:30~16:30
- ・会場：[静岡キャンパス] 附属図書館6階会議室
[浜松キャンパス] 総合研究棟10階会議室
※遠隔テレビシステムで2会場同時に開催
- ・参加者数：25人
- ・プログラム：
 - 1 プロジェクト概要説明
 - 2 プロジェクト成果発表グループ

- ①静岡県西部地域の農業活性化に向けたサポート事業
代表者：田中宏和（静岡大学情報学部教授）
- ②人と、自然と、世界とふれあう「しきじ土曜倶楽部」支援プロジェクト
代表者：河村道彦（静岡大学教育学部准教授）
- ③学生と地域社会の協働による地域防災力向上プロジェクト
代表者：藤井基貴（静岡大学教育学部准教授）



公開セミナー 「学ぶって楽しい！大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることが出来ることを目的に、「学ぶって楽しい！」と題する公開セミナーを実施しました。知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、

人生をより豊かにすることができます。

- ・日時：2016年6月19日（日）9：15～12：15
- ・プログラム：
 - [演習]「アイスブレイク～学びのなかま～」
 - 講師：大畑智里（静岡県立静岡北特別支援学校教諭）
 - [講義①]「作って表現しよう」
 - 講師：高橋智子（静岡大学教育学部准教授）
 - [講義②]「体を動かそう」
 - 講師：静岡大学ダンスサークル
- ・参加料：無料
- ・会場：静岡大学教育学部G棟201,202
- ・企画：静岡県障害者就労研究会

地域課題解決支援プロジェクト 第2期募集 ～あなたの地域で学ばせてください～

「地域課題解決支援プロジェクト」とは、地域社会から幅広く地域課題を公募し、地域と大学が連携・協働することによって解決することを支援する事業です。



地域課題解決支援プロジェクト第2期募集チラシ

本年度は、第2期の公募を行いました。

第2期は地域課題の解決支援のさい、継続的に学生たちを受け入れていただける自治体、企業、団体を対象に募集を行い、15件の応募がありました。現在、順次ヒアリングを行っています。

今後の各課題の進捗状況はウェブサイトでも紹介していきます。

自治体等との連携講座

静岡大学・静岡市生涯学習交流館・生涯学習センター 連携講座 「東海道二峠六宿リレー講座 ～静岡の宿場をめぐる～」

六宿周辺の生涯学習施設を舞台にリレー形式で東海道の成り立ちと六宿にまつわるエピソードについて学ぶ講座を開催しました。

第1回9/3(土)「近世東海道と蒲原宿」
講 師：本多隆成(静岡大学名誉教授)
会 場：蒲原生涯学習交流館 受講者数：74人

第2回9/10(土)「『弥次喜多』の由比宿と現在」
講 師：新田時也(東海大学熊本教養センター准教授)
会 場：由比生涯学習交流館 受講者数：73人

第3回9/17(土)「中世興津氏と興津宿」
講 師：貴田潔(静岡大学人文社会科学部准教授)
会 場：興津生涯学習交流館 受講者数：62人

第4回9/24(土)「江尻宿の宿付、加宿と助郷」
講 師：川崎文昭(常葉大学名誉教授)
会 場：江尻生涯学習交流館 受講者数：51人

第5回10/1(土)「駿府城下町と府中宿」
講 師：本多隆成(静岡大学名誉教授)
会 場：葵生涯学習センター 受講者数：70人

第6回10/8(土)「丸子宿を旅した人々」
講 師：本多隆成(静岡大学名誉教授)
会 場：長田生涯学習センター 受講者数：57人

開催時間：13：30～15：00

受講料：無料



静岡市・大学連携事業

平成28年度市民大学リレー講座 「コミュニケーションの多面性を探る ～現代社会をより良く生きるために～」

この事業は、静岡市内5大学と静岡市が協力して全5回の講座として実施するもので、このうち第1回は静岡大学が担当しました。

第1回9/3(土)
「津波防災対策とリスク・コミュニケーション」
講 師：原田賢治(静岡大学防災総合センター准教授)
受講者数：47人

第2回9/10(土)
「よみがえるつくり手との対話～文化財建造物を中心に～」
講 師：土屋和男(常葉大学准教授) 受講者数：43人

第3回9/17(土)
「コミュニケーションエラーを科学する」
講 師：重森雅嘉(静岡英和学院大学准教授)
受講者数：41人

第4回9/24(土)
「イルカから見たコミュニケーション」
講 師：森阪匡通(東海大学准教授) 受講者数：40人

第5回10/1(土)
「本当は怖い?コミュニケーション～言葉の力と暴力を哲学する～」
講 師：飯野勝己(静岡県立大学准教授) 受講者数：48人

開催時間：

10：00～11：45

会 場：アイセル21

参加費：無料



平成28年度市民大学リレー講座チラシ

地域課題解決支援プロジェクト進捗状況

2013年度から開始した「地域課題解決支援プロジェクト」は、これまで大学との接点がなかった地域や団体から課題を公募し、新たな地域連携・貢献活動につなげようという取り組みです。普段大学とのコンタクトがない地域をも巻き込んだ事業です。

このプロジェクトは、大学が「地域課題」を定義し解決策を提示するのではなく、地域から地域の現状と課題を学び、大学の教育・研究を拡充・深化させることを目指した活動です。

本年度上半期に取り組んだ課題の進捗状況についてご報告します。

●三保の松原フューチャーセンター

7月29日、東海大学海洋学部田中博通研究室を訪問し、提案者の前島氏、東海大翔陽高校関係者の方々と三保松原の地域課題に関するヒアリングと意見交換を行いました。

9月9日には、学会で来静中の鳥取大学菌類きのこ遺伝資源研究センター・霜村典宏教授を訪問し、三保松原の松林保全のためのアドバイスを受けました。

●松崎町役場

8月3日、地域創造学環のフィールドワーク候補地視察と合わせ、地域課題の現状視察のため松崎町を訪問しました。なまこ壁の建物の現状、津波防災のための対策を聴取した後、オープンしたばかりのシェアオフィス「ふれあいとうふや」や重要文化財「旧依田邸」の活用等について意見交換をしました。

10月9日には、地域創造学環の学生28名、教職員4名で、松崎町へのフィールドワークを行いました。深澤課長補佐に町内を案内いただき、津波防災をはじめとした地域課題の説明を受けました。



●東伊豆町観光協会

8月24日、東伊豆町の観光資源となっている、細野高原「すすきの祭り」の更なる発展に向けた改善策や、新たな観光資源の開発などについて意見交換を行いました。東伊豆町地域おこし協力隊の方に現地・細野高原を案内いただきながら活用の可能性について打ち合わせをしました。9月23日には、東伊豆町地域おこし協力隊が来学し、地域創造学環、静大フューチャーセンターと面談し、地域課題に関してどんな可能性があるか意見交換を行いました。

●国立中央青少年交流の家

国立中央青少年交流の家の敷地（面積178千㎡）には多様な植物が生息し、絶滅危惧種も確認されています。しかし最近、外来植物が増え、生態系への影響が懸念されています。そこで、ここを活動フィールドとする地元のNPO「土に還る森づくりの会」は交流の家と連携し、昨年からの生態系を守る活動として森の整備に着手しました。9月13日のヒアリングでは、この森づくりの活動を中心に意見交換を行い、静大に期待するニーズなどを聴取しました。



●茶夢来（菊川市）

9月15日、菊川茶振興による地域活性化を目指す、茶農家若手経営者の団体「茶夢来」を学生とともに訪問しました。菊川市役所職員の方も交えて、お茶をテーマとして菊川と大学が力を合わせて何ができるか意見交換を行いました。

その他の地域課題についても、学内外の教員、学生、留学生などが参加・参画し、解決支援の取組が進行中です。興味・関心のある方はお問い合わせください。

全国国立大学生涯学習系センター研究協議会

平成28年9月26日（月）～27日（火）の2日間、「第38回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会」が香川大学で開催されました。23大学58名の教職員が参加し、当部門から阿部部門長とパート事務職員の牧野が参加しました。

本年度の協議会は「地域と協奏する大学～地方国立大学法人の地域貢献～」をテーマとし、地域に根ざした大学の在り方について生涯学習支援の観点を中心に協議が行われました。

プログラム：

9月26日（月）13：00～16：00

記念講演「香川発 希少糖で描く健康未来社会」

フォーラム「教育・学習を軸とした『大学と地域連携』」

9月27日（火）9：00～12：00 分科会・全体会

分科会Ⅰ「研究協議会の在り方を考える」

分科会Ⅱ「域学連携の在り方を考える」

分科会Ⅲ「共同研究への参画につなぐ」

分科会Ⅳ「政策動向を読み解く」

市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、学生が受講している正規の科目を、一般市民の方に開放するものです。単位の認定はありませんが、入試なし、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2016年度前学期の開講科目数・受講者数の状況は下表のとおりです。

開講科目数			受講者数		
静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計	静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計
180	33	213	139	22	161

企画実施委員会

地域連携生涯学習部門には、「企画実施委員会」が組織されています。当部門の運営事業、さらに本学の地域連携・生涯学習のあり方等について審議するとともに、全学公開講座の企画・立案・実施に関しても審議を行っています。

2016年度の委員は次のメンバーで構成されています。

阿部 耕也	部門長・教授
石川 宏之	部門専任教員・准教授
土居 英二	機構特任教授
皆田 潔	機構特任准教授
笠井 仁	人文社会科学部教授
洪江かさね	教育学部准教授
岡田 安功	情報学部教授
三重野 哲	創造科学技術大学院教授
戸田三津夫	工学部准教授
今泉 文寿	農学部准教授
松野 和子	大学教育センター講師
水谷 洋一	地域創造学環教授
松永 幸夫	学術情報部研究協力課長
大谷 悦子	部門パート事務職員
牧野 宏美	部門パート事務職員

地域連携メールマガジン「大地通信」配信中

静岡大学イノベーション社会連携推進機構では毎月1回静岡大学地域連携メールマガジン「大地通信」を配信しています。静岡大学が開催する公開講座や市民開放授業、講演会などの情報を市民の皆様にお知らせするとともに、本学の学生・教職員が地域社会の課題に向きあい協働する地域連携や貢献活動についても積極的に発信していきます。

メールマガジン配信の登録・解除およびバックナンバーの確認は部門ウェブサイトからお願いします。

・ウェブサイトURL

http://www.lc.shizuoka.ac.jp/mail_magazine.php

地域と大学 第33号

発行日——2016年10月31日

発行——静岡大学イノベーション社会連携推進機構
(地域連携生涯学習部門)

編集——牧野 宏美

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
(事務局別館2階)

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

URL: www.lc.shizuoka.ac.jp/

(事務局) 学術情報部研究協力課 ☎ 054-238-4056